

第3章／環境活動のしくみ

人吉電力所は、長期的視点に立ち、継続的に環境負荷の低減に取り組むため、以下のようなしくみを築いて環境保全活動に取り組んでいます。

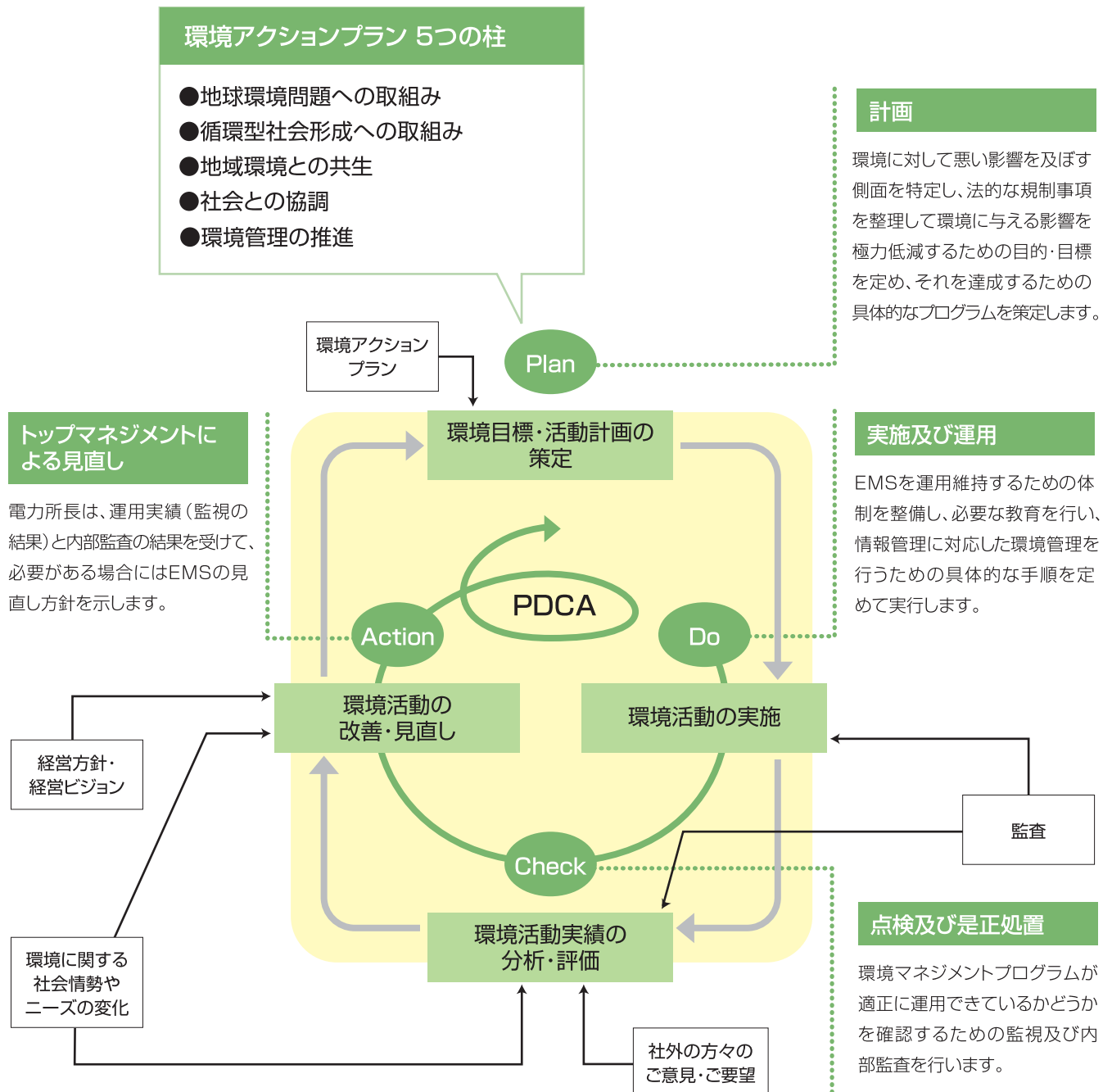
1. 環境マネジメントシステム

(1) EMS導入とISO14001認証取得

人吉電力所では、所員及び関係者の環境保全に対する意識の高揚、並びに環境負荷低減のための継続的改善による環境管理レベルの向上などを目的として、環境マネジメントシステム(EMS)を導入しています。

EMSは、電力所の環境保全に関する基本姿勢を示した環境方針に基づき、以下に示すPDCAサイクルを繰り返すことで、環境負荷の継続的な低減を図るシステムです。

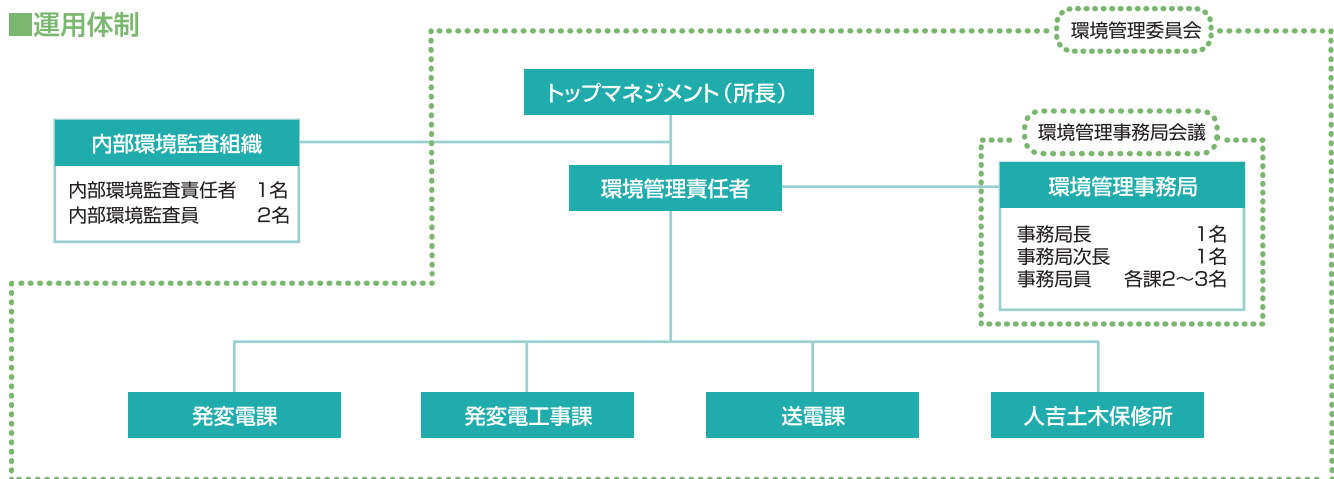
このシステムを2000年9月に導入し、翌年3月に国際規格であるISO14001の認証を取得しています。



(2) 運用体制

人吉電力所員及び人吉土木保修所員が協力して環境マネジメントプログラムに定められた役割分担に従い、環境管理に取り組んでいます。

■運用体制



(3) 内部環境監査

電力所長が任命した「監査責任者」を中心とした「内部環境監査組織」が、環境監査を年1回実施しています。ここでは、人吉電力所における環境管理がISO14001規格の要求事項に適合し、適切に実行・維持されているかを確認しています。

(4) 教育・訓練

環境マネジメントシステムに関する教育や、各所員に応じた各種の教育・訓練を定期的に行っています。

また、緊急事態を想定し、大規模非常災害復旧訓練、油流出事故復旧訓練及び消防訓練などを定期的に行っています。

なお、当電力所員が保有する環境関連の資格は右表のとおりです。(土木保修所含む)

当電力所員の環境関連資格の保有状況

資格名	資格者数(人)
防火管理者	2
衛生管理者	26
特別管理産業廃棄物管理責任者	2
危険物取扱責任者	30
内部環境監査員	4

2009年5月1日現在

(5) 外部環境審査

2001年3月の認証取得以降、毎年、第三者の審査機関からEMSが適切に運用され、維持されていることを定期審査により確認を受けています。さらに、認証の有効期間が3年であることから3年毎に更新審査を継続受審しています。

外部審査機関による受審状況

年度	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
認証取得	○								
更新審査				○			○		
定期審査		○	○		○	○		○	○

2. 環境目的・目標の計画と実績

(1) 2008年度の実績と評価

環境管理活動上、電力所が重点的に取り組むべき課題として、目的・目標を定め環境活動に取り組んでいます。

2008年度EMS目標の取組結果

項目	計画		結果	備考
	目標値	実施方法		
事務所内電力使用量の削減	1999年度実績から24%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯 ・冷暖房の温度設定(冷房28℃、暖房19℃) ・空調運転停止時間の管理 ・不使用OA機器の電源断の実施(平日、週末電源断対象機器の明確化) ・省エネ標語類の設置 ・執務室他不要蛍光灯の間引き ・時間外の適正実施、管理 ・自動点灯スイッチの導入拡大(別館への導入) ・空調効率UP対策の実施(夏場のブラインド運用、エアコン吹出し口調整) 	1999年実績から24.2%削減	目標達成
事務所活動における紙の使用量削減	2002年度実績から34%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・両面印刷、両面コピーの徹底 ・コピー後の設定リセットによるミスコピー防止 ・印刷前のプレビューによるミスプリント防止 ・コピー用紙のA4サイズ統一 ・ミスコピー用紙の裏面活用 ・プロジェクターの活用(別館会議室のLAN活用)(会議における紙の使用量削減) 	2002年度実績から35.5%削減	目標達成
一般廃棄物の削減及び再資源化の推進	発生量4,100kg以下 リサイクル率80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミ分別の徹底 ・生ゴミ処理機の使用 ・現場一般廃棄物の処理適正化 ・リサイクル可能物品の抽出、明示 	発生量 3,235kg リサイクル率 87.5%	目標達成
設備懸案事項の計画的な解消	計画懸案の100%解消	<ul style="list-style-type: none"> ・懸案事項解消のための作業計画作成 ・計画懸案の確実な実施 ・新規発生懸案の対策時期検討 ・緊急対応を要す新設備懸案の迅速な処理 ・環境負荷の低減の着実な推進(石綿削減、油レス化推進等) 	100% (419件/419件)	目標達成
環境にやさしい行動の積極的推進	36点/人以上 (環境活動をポイント化)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい行動の実施(ポイント設定項目) 電力所周辺3S活動 徒歩、自転車での通勤 私有車運転時の省エネ運転 植樹、清掃等環境活動への参加 不法投棄ゴミ発見時の通報 割り箸リサイクル活動 ペットボトル蓋リサイクル活動 環境家計簿(エコファミリー)データ入力 など 	47.8点/人	目標達成
オフィスクリーンの推進	平均93点以上 (チェックリストによる点数化)	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスクリーン定着化に向けた取組み(チェックリストを用いた実施状況確認) ・文書電子化の推進 ・発変電所書類、倉庫の整理(チェックリストを用いた整理状況確認) 	95.7点	目標達成

なお、活動が定着したものについては、「維持運用活動」として継続して取り組むこととしています。

(2) 2009年度の計画

2009年度の計画は以下のとおりとしました。

2009年度EMS目標

計画（ ____ は新規取り組み）			備考
項目	目標値	実施方法	
事務所内電力 使用量の削減	1999年度実績から 25%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み及び時間外の不要な照明の消灯 ・冷暖房の温度設定（冷房28℃、暖房19℃） ・空調運転停止時間の管理 ・不使用OA機器の電源断の実施 （平日、週末電源断対象機器の明確化） ・省エネ標語類の設置 ・執務室他不要蛍光灯の間引き ・時間外の適正実施、管理 ・自動点灯スイッチの導入拡大（別館への導入） ・空調効率UP対策の実施 （夏場のブラインド運用、エアコン吹出し口調整） ・夜間照明（水銀灯）の点灯時間見直し 	目標を上方修正 のうえ、継続して 取り組む
設備懸案事項の 計画的な解消	計画懸案の 100%解消	<ul style="list-style-type: none"> ・懸案事項解消のための作業計画作成 ・計画懸案の確実な実施 ・新規発生懸案の対策時期検討 ・緊急対応を要す新設備懸案の迅速な処理 ・環境負荷の低減の着実な推進 （石綿削減、油レス化推進等） 	継続して取り組む
<u>設備の巡視、点検及び機器の 定期点検の計画に基づく実施 による予防保全</u>	計画に基づく巡視、 点検の100%実施	<ul style="list-style-type: none"> ・巡視、点検計画の確実な実施 ・巡視、点検で発見した不具合の適確な管理 ・巡視、点検スキルアップ教育の実施 ・他所での事故事例による、同様機器の調査点検の実施 	新規
<u>ペットボトル蓋 リサイクル</u>	130個/人 以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルの蓋リサイクル活動の実施 ・回収したペットボトルの蓋の送付活動 CO2削減に寄与する意識向上 ワクチン購入への貢献 	環境にやさしい行動 の積極的推進で実 施していた項目を単 独で実施し、活動の 強化に取り組む
<u>環境家計簿 （エコファミリー）の 加入・利用促進</u>	エコファミリー登録 60%以上 環境家計簿への入力 12ポイント/人	<ul style="list-style-type: none"> ・エコファミリーへの登録 ・我が家の毎月のエネルギー使用量の入力 	環境にやさしい行動 の積極的推進で実 施していた項目を単 独で実施し、活動の 強化に取り組む